

人間と生命 (Humanity and Life)

認知哲学 (Philosophy of mind)

山口裕之・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 火 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『哲学』)

【授業の目的】 脳と心の間をめぐり科学や哲学の議論を学ぶ。

【授業の概要】 近年、脳や神経細胞の活動を計測する技術の開発やコンピュータの進歩を背景に、「脳についての科学」や「意識についての科学」の研究が大きな成果を上げつつある。しかしその一方で、心や意識をそう簡単に「脳」と同一視してもよいのかという「哲学的」な疑問もまた根強い。この授業では、そうした「意識の科学」の研究を概観し、「哲学」の立場から、心と脳の間をめぐり諸問題について考えたい。

【キーワード】 科学と哲学、心理学と哲学、哲学、言語、脳

【関連科目】 『人間と生命/生命倫理学研究』(0.3)

【到達目標】

1. 人間科学 (心の科学・脳科学) に関わる幅広い知識の理解。
2. 日本語の論理的な文章を理解する能力を身に付ける。
3. 日本語で論理的な文章を書く能力を身に付ける。

【授業の計画】

1. イントロダクション:心身問題
2. 科学的に理解するとはどのようなことか
3. 心をコンピュータにたとえる 1
4. 同上, 2
5. 同上, 3
6. 同上, 4
7. 心の仕組みと脳の仕組み 1
8. 同上, 2
9. 同上, 3
10. 同上, 4
11. 決定論と自由意志 1
12. 同上, 2
13. 同上, 3
14. 同上, 4
15. まとめ

【教科書】 山口裕之『認知哲学』新曜社

【参考書等】 授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法】 毎回の授業前に提出する「予習カード」(宿題)2点×15=30点、毎回の授業終了時に提出する「授業へのコメント」2点×15=30点、毎回の授業終了時の小テスト 10点×14回を 40点満点に換算。

【再試験の有無】 なし。

【受講者のメッセージ】 授業は、基本的に、毎回教科書の2~3章分程度を読んできてもらい、それに対する質問や疑問を書いた「予習カード」(宿題)を軸に進めたいと思います。必ず教科書を入手するようにしてください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221066>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 山口 (共通教育 4 号館 404(11 年 3 月まで), 088-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜10:30~ 11:30)